

---

平成30年度  
五所川原市民討議会 報告書



平成30年度 五所川原市民討議会実行委員会

---

# 目次

● 市民討議会の概要	..... 1
・事業概要	
・タイムスケジュール	
・話し合いのルール	
● 市民討議会の目的・手法	..... 4
・市民討議会の目的	
・市民討議会の手法	
● 討議の進め方と論点（ねらい）	..... 6
・全体テーマ	
・テーマ1～テーマ3	
● 討議シート	..... 9
・テーマ1～テーマ3（提言）	
● 市民討議会資料編	..... 22
・実行委員会規則	
・参加者案内通知	
・参加者アンケート結果	
・広報記事	
・コーディネータープロフィール	

# 市民討議会の概要

## ■ 事業概要 ■

- 事業名 平成30年度 五所川原市民討議会
- 運営形態 五所川原市・公益社団法人 五所川原青年会議所 共催
- 開催期日 平成30年8月26日（日）  
13時30分～17時00分
- 開催場所 五所川原市役所 1階 市民の土間
- 参加者 30人
- 参加者選出 住民基本台帳から無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内を送付し、67名の応募がありました。厳正なる抽選の結果30名を参加者と決定し参加依頼を送付いたしました。
- 討議テーマ 「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」
- 小テーマ
  - 【テーマ1】：市民が誇れる五所川原の魅力は何か
  - 【テーマ2】：県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう
  - 【テーマ3】：暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原を考えよう
- 情報提供 県外からの音声メッセージ・Uターン経験者から見た五所川原の魅力  
地方発のまちづくりの事業紹介
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
  - ①参加者を討議グループ（1グループ5人、計6グループ）に分け、進行は実行委員会のファシリテーターが務めました。
  - ②討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約しました。
  - ③グループで集約した意見を発表しました。
- 実施報告 討議結果は報告書にまとめ提言として市長に提出します。

## ■平成30年度五所川原市民討議会プログラム■

平成30年8月26日（日）

五所川原市役所 1階 市民の土間

TIME	内容
13:00～	受付開始
13:30～	開会
13:35～	コーディネーター紹介
13:40～	<b>市民討議 テーマ</b> 『暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原へ』
13:50～	<b>市民討議 小テーマ1</b> 『市民が誇れる五所川原の魅力は何か』
14:20～	休憩
14:30～	<b>市民討議 小テーマ2</b> 『県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう』
15:15～	休憩
15:25～	<b>市民討議 小テーマ3</b> 『暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原を考えよう』
16:10～	グループ発表
16:40～	講話
16:55～	総評・閉会
17:00～	参加者アンケート・記念撮影・解散

## ■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合コーディネーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、ファシリテーターが、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

### 話し合いのルール

- ①自分だけ話さない
- ②頭から否定しない。  
質問として聞く。
- ③人の意見を最後まで聞く。
- ④楽しい雰囲気大切に。

## 市民討議会の目的・手法

### ■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよい暮らしのために何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要性を認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

### ■ 市民討議会の手法 ■

～プラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は次の通りです。

#### 1. 運営組織＝実行委員会形式

五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計8人で構成され、4月25日の初会合から8月26日の開催日まで、延べ5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を超えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日の初参加の市民を想定して、実際にワークショップを行いました。

#### 2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出を行い、1,500名に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締め切り日までに送られてきた参加承諾書は、67名でした。

なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は五所川原青年会議所で担当しました。

### 3. 話し合いの方法

話し合いは、プランクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で全6グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内すべての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見ることと、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

### 4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授、平井太郎氏にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プランクスツェレとは・・・

プランクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・Cディネールドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていたことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

#### ★定義

『プランクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクスツェレ(ディーネル教授 著)」より～

#### ★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

---

## 討議の進め方と論点（ねらい）

### ◆全体テーマ

「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

◇ねらい：五所川原は、若者を始めとした県外への進学や就職、そしてそれを起因とした一度県外に住み始めると故郷に戻らなくなる人口減少の問題を抱えています。しかし、自然豊かで歴史や文化が根付いている住み良い街です。そこで、どうすれば県外の人々が五所川原に興味・関わりを持ち、住みたいと思えるようになるか。自然・文化・産業に関連する五所川原の魅力に県外の人々が関係し合い、県外の人と五所川原が徐々に結びつくことで関係人口の拡大へと繋げ、そこから生まれるコミュニティが活力あるまちづくりとなり、五所川原の未来へと繋げていくことを目的とします。

### ○テーマ1

「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

◆論点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

◇ねらい：内から見た魅力を抽出し、テーマ2に繋げる。

### ○情報提供1-1：「県外からの音声メッセージ」

◇ねらい：外から見た魅力を共有する。

都会とは違う田舎ならではの魅力を語ってもらう。

### ○情報提供1-2：「Uターン経験者から見た五所川原の魅力」

◇ねらい：県外に住んでいた時の五所川原との関わり方や、戻ってきて気づいた五所川原の魅力について語ってもらう。

## ○思考の整理：「市民が誇れる魅力と県外の人が求める魅力の乖離について」

◇ねらい：テーマ1で抽出した市民が誇れる魅力は、情報提供で共有した外から見た魅力と合致しているのかを整理する。市民が気づいていない、まちの資源を活かした交流方法について学び、テーマ2に繋げる。

## ○テーマ2

### 「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

◆論点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

◇ねらい：外の要望と内の魅力をマッチングする。

## ○情報提供2：「地方発のまちづくりの事例紹介」

◇ねらい：関係人口拡大に取り組んだ事例を共有し、テーマ3を考える上で参考にしよう。

## ○テーマ3

### 「暮らしてみたい・帰ってきたい五所川原を考えよう」

◆論点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人々が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

◇ねらい：早急な定住化を目的とせず、年に数回でも「帰ってくる・関わる」という関係性を構築することをゴールとする。そして、将来的な定住化へと結びつける。

○全 体 発 表

○講 話：「地方における市民参加の重要性について」

◇ね ら い：市民が街づくりに参画することの意義・重要性を学ぶ。

---

## 討議シート

1 班

ファシリテーター：佐々木 邦 和

### 討議テーマ

「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

○テーマ1「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

◆論 点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

安心安全	災害が少ない。
自然体験	芦野公園・菊ヶ丘公園・はなしょうぶ苑
	嘉瀬スキー場で自然体験できる。
食	しじみ・赤～いりんご・ラーメンがおいしい。
文化	立佞武多や虫と火まつりがある。
	津軽鉄道では、ストーブ列車・風鈴列車・すす虫列車をしている。
買い物	エルムの街が便利。
医療	つがる総合病院がある。
空き家	旧平山家がある。

○テーマ2「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

◆論 点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

環境	避暑地としての五所川原は県外から魅力があるのではないか。
人柄	五所川原市に住む方の人柄は温かく、適度におせっかいである。
文化	ねぶた絵師を目指す方がいるのではないか。
	立佞武多の紙貼りを体験するのはどうか。
空き家	古民家を活用するのはどうか。
その他	情報発信を工夫する。
	Uターン家族を優遇するのはどうか。

## ○テーマ3「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる

五所川原を考えよう」

- ◆論 点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

### ●セカンドライフの応援

対 象	U・Iターンの人
内 容	五所川原の自然の中で自給自足をして生活を周りの人が手助けする。
手伝える事	高齢の方の買い出しや力仕事を手助けする。

### ●夏以外のイベントを作る

対 象	Iターンへ繋がる人
内 容	立佞武多以外の人を惹きつけるイベントを作る。
手伝える事	イベントスタッフとして協力できる。

### ●空き家を利用した民泊を実施

対 象	Iターンへ繋がる人
内 容	空き家を活用しボランティアによる民泊を実施。
手伝える事	田舎料理を作って提供したい。

## その他

ねぶたの紙貼り、金山焼など職人体験をしてもらう。
立佞武多の全国ライブを行う。
空き家を安く提供し飲食店を始めたい人を集める。ワンコインランチに掲載する。
町中にイルミネーションをやる。
市内の特産品食べ歩きツアーをやる。
五所川原立佞武多のSNSでの中継。

## 2班

ファシリテーター：平 田 浩 介

## 討議テーマ

「暮らしてみたいくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

○テーマ1「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

◆論 点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

自 然	市浦のしじみは有名。
	津軽鉄道は魅力がある。
食	山菜・きのこ・畑など自然の恵みがある。
	馬肉がおいしい。
文 化	立佞武多は魅力がある。
観 光	斜陽館は入館料400円でも納得できる。
	文豪ストレイドッグスという漫画が流行っていて、金木はゆかりの地である。
	リゾートしらかみがある。

○テーマ2「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

◆論 点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

自 然	自然にホッとする。
	空気がおいしく都会と違い静かでゆったりしている。
文 化	桜や立佞武多は時期が限られているイベントである。
	立佞武多の紙貼りを体験するのはどうか。
空 き 家	古民家を活用するのはどうか。
そ の 他	情報発信を工夫する。
	Uターン家族を優遇するのはどうか。
観 光	電車の本数は少ないが、観光客には不便さが逆にいい。

○テーマ3「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる  
五所川原を考えよう」

◆論 点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

●一日限定！いきなり市浦牛ステーキ

対 象	市民やIターンに繋がる観光客
内 容	ELMのいきなりステーキで市浦牛を1日限定で提供する。 市民で盛り上げるほうが、インパクト大である。 五農の文化祭とコラボするのもあり。
手伝える事	市民主体で盛り上げる。

●B級グルメをYOUTUBEで発信

対 象	YOUTUBEを利用するユーザーと若者
内 容	YOUTUBEで五所川原市のB級グルメ情報を発信する。 金木のカレー味のみそおでん・あげたいやき・亀乃家の天中華・金山ソフトクリームなど。 また、家庭で作られている市内の特産品を使った料理なども配信する。

その他

赤いリンゴは酸味があり、ポリフェノールを含んでいるので、健康志向の人に宣伝する。
五農の文化祭のみそ、米を宣伝して人を惹きつける。
金山焼のジョッキで飲むビールは格別。ジョッキキープをできるシステムはどうか。
観光客に、飲みすぎたらしじみで肝臓を回復してもらおう。

## 3班

## ファシリテーター：神 康 知

## 討議テーマ

「暮らしてみたいくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

○テーマ1「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

◆論 点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

景 観	農地の広がるのどかな環境。
	不動の滝、セツ滝など滝が多いところ。
	津鉄沿線にキバナコスモスがいっぱい植えられている。
	津鉄フラワーセンター・芦野公園など野原観察のできる公園が多いところ。
食	魚・市浦牛・馬肉・ラーメン・石炭クッキーなどおいしい食べ物がある。
観 光	金木はアニメの文豪ストレイドッグスの聖地。
	立佞武多が有名。虫送りという文化もある。
	地吹雪体験ツアーがある。
文 化	俳句・川柳・短歌などの文芸活動が活発なところ。
	津軽弁の文化がある。

○テーマ2「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

◆論 点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

自 然	キャンプ地として、釣りやカメラでの撮影スポットを宣伝する。
	文豪ストレイドッグスの聖地巡礼を楽しめる。
文 化	若い人の新しい発想をもって、SNSなどで発信力を高める。
	津軽弁のなまりは、かわいいし面白いかも。
	ゆるキャラのイベントを作る。
	行事・イベントならではの関わりある仕事を増やす。
住 ま い	Uターン家族を優遇するのはどうか。
観 光	電車の本数は少ないが、観光客には不便さが逆にいい。
	観光者限定の商品を提供する。

○テーマ3「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる  
五所川原を考えよう」

◆論 点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

●五所川原にゴショー隊

対 象	1ターンにつながる人
内 容	五所川原を紹介する戦隊ヒーローをつくり、観光客をご招待する。またそれをYOUTUBEなどのSNSで発信する。そして、非公式の津軽弁のオフ会などのコミュニティを作り五所川原との繋がりをもつ。

●おためし暮らしイベント

対 象	1ターンにつながる人
内 容	宿泊とイベントを一体化して、五所川原の暮らしを体験してもらう。イベントとしては、雪の降っている時期に津軽半島を1周したり、津軽弁を知ってもらったりする。定住後は各自治体が協働でネットワークを作り、五所川原の人とコミュニケーションをとれるようにする。

●聖地巡礼ツアー

対 象	文豪ストレイドッグスを知っている県外の人
内 容	聖地巡礼で金木を巡るツアーを行うコスプレ撮影付きの1泊2日の旅。民間企業とコラボしたツアーでしか手に入らない五所川原の限定品を企画する。

その他

各町ごとに花を植えるコンテストを行う。
俳句を学校の授業に取り入れて俳句の街にする。
滝を観光名所にするために整備する。
観光客が集まるところで五所川原のCMを作る。
津軽弁チャットができる掲示板を製作し、市が認める公式アカウントを開設する。

## 4班

ファシリテーター：宮崎 敬也

## 討議テーマ

「暮らしてみたいくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

## ○テーマ1「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

- ◆論点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

自然環境	自然や野生動物が多い。
	雪が降る事も一つの魅力である。
住まい	四季がはっきりしている。
	冬の道路環境が良い。
食	お米やりんごや野菜などの農業が盛んである。
おもてなし	しじみラーメン・馬まん・ミズ・根曲がり竹などの特産品がある。
観光	立佞武多や太宰治などの観光アピール場が多い。
	津軽鉄道では、ストーブ列車・風鈴列車・鈴虫列車をしている。
工芸	津軽金山焼などの工芸品がある。

## ○テーマ2「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

- ◆論点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

自然・環境	水量が多く自然が豊富である。
	災害が少なく過ごしやすい
人	商売っ気のないところや津軽人の気質に魅力がある。
	津軽弁は他の地域に比べて荒々しい訛りがある。
	津軽弁はあたたかく、面白い。
住まい	勤務時間が少ない。
文化	金木町は三味線発祥の地である
	芦野公園の中を鉄道が走るのの特徴がある。
	金木町は太宰治生誕の地であり文学のまちである。
空き家	古民家を活用するのはどうか。

○テーマ3「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる  
五所川原を考えよう」

◆論 点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

●若い世代に向けた農業体験

対 象	U・Iターンの人
内 容	農家に泊まりながら、若い世代の人に農業する機会を提供することで、後継者対策になり、そして定住化につなげる。

●グルメツアーの企画

対 象	Iターンへ繋がる人
内 容	住民からの情報提供による、グルメと地元体験を楽しめるツアーを行う。

●空き家を利用した民泊を実施

対 象	立佞武多観光客。
内 容	空き家を活用して、まつり期間限定の民宿を行う。

その他

高齢者が採った山菜を、山菜好きな人へ搬送することで、高齢者の収入源にする。
地元の野菜を取り入れた、価格の手ごろなレストランをする。
バイクツーリングなどの旅行者専用のオートキャンプ場に宿泊してもらう。
子育て世代に子育て支援を行う。

## 5班

ファシリテーター：弘前大学 学生

## 討議テーマ

「暮らしてみたいくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

○テーマ1「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

◆論 点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

四 季	自然が多くのだか。住みやすい。
	夏は暑いけど、長く続くわけではない。
	四季がはっきりしている。
祭 り	虫送りや立佞武多の祭りがある。
観 光	芦野公園の桜の散策が楽しめる。津軽鉄道とのコラボが素晴らしい。
	斜陽館では趣向を変え、いろんなイベントを開催している。
人	津軽の人は物事をスバズバいうところと、おせっかいなところがある。
工 芸	金山焼など工芸品が豊富。
食	馬肉を使った激馬カレーや馬マンがある。
	貝焼き・みさおの笹餅・赤めし・赤いおいなりなどがある。

○テーマ2「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

◆論 点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

自 然	夏は他県と比べて気温は低いので避暑地の候補にしよう。
	雪が多く雪遊びは子供の健康のためにもいい。
	地震が少なく、大きな災害はあまり来ないので安心。
文 化	津軽三味線も他県からすれば魅力的な文化である。

○テーマ3「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる  
五所川原を考えよう」

◆論 点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

●津軽弁でフランス語講座

対 象	市民の方やUターンにつながる観光客の人
内 容	津軽弁で、イントネーションが似ているフランス語講座を小学校やキャンプ場などで行う。

●奥津軽の普段の食の展覧会

対 象	定年退職後の方
内 容	津軽の郷土料理の懐かしい味をモチーフにした食の博覧会を行う。おでんや馬まん、笹餅などが出そろい、料理を盛る皿は金山焼を使う。また、全国の料理上手の方に笹餅づくり対決をしてもらい、Best Of Misao を決める。

●昔遊び体験

対 象	Uターンの子育て世代
内 容	親子で楽しめる五所川原の昔の人が遊んでいた遊びや歩く遠足などを子供たちに経験してもらい、五所川原を好きになってもらう。冬のシーズンはオリジナルの雪遊びを楽しんでもらう。

その他

他県へSNSを利用して五所川原のご当地名物を発信する。
五所川原にちなんだことをかたるたにする。
民泊や空き部屋を利用して観光客を獲得する。
ごしゅりんをバージョンアップして知名度を高める。
雪かきをしたことのない人に、雪かきのコツを教えるボランティアをする。
自然を生かした国営・市営の大きな公園を作る。

## 6班

ファシリテーター：下川原 伸 彦

## 討議テーマ

「暮らしてみたいくなる・帰ってきたくなる五所川原へ」

○テーマ1「市民が誇れる五所川原の魅力は何か」

◆論 点：市民が肌で感じている自然・文化・産業の魅力を抽出する。

自 然	ため池、十三湖、木橋がある。
	自然が豊かで広大な平野である。
住 ま い	五所川原は住みやすい環境である。
買 い 物	ELMの鱈ヶ沢や小泊から集まる魚・海鮮がおいしい。
景 観	市役所新庁舎ができた
観 光	ストーブ列車・鈴虫列車が魅力的である。
	地吹雪体験ツアーがある。
文 化	芦野公園や菊が丘公園では桜や花、植物が豊富。
	金木は斜陽館などの歴史的建造物がある。

○テーマ2「県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう」

◆論 点：テーマ1で抽出した魅力を基に、県外の人々の要望に五所川原がどうリンク出来るかを考える。

交 通	車があればアクセスが良いので、遊びに来やすい。
仕 事	都会よりも働きやすい。
食	弁当屋さんが多い。
情 報 発 信	外からの視点での情報発信や、見聞を広める宣伝をするのはどうか。
住 ま い	空き家が多いので移住する人によいのでは。
	今のところ他県より災害が少ないので安心できる。
	都会に比べて五所川原は子育てしやすい環境である。

○テーマ3「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる  
五所川原を考えよう」

◆論 点：五所川原の魅力を活用し、市民と県外の人が双方向的に結びつき合うコミュニティについて考える。

●伝統文化のPR

対 象	Iターンにつながる観光客
内 容	五所川原の立佞武多や奴踊りなどをPRしていく。 金木はスコップ三味線が有名なので県外の人に発信する。

●若者との交流

対 象	五所川原に興味のある若者
内 容	五所川原市の空き家を利用して、五所川原に興味のある若者に泊まってもらい、そして地域の人と交流してもらおう。海外の人でも受け入れる。観光客の宿泊施設として空き家を使うのもよい。

その他

高齢者へのIT普及に取り組み若者との交流に繋げる。
子供の税金をかからないようにする。
雇用情報をもっとアピールをして雇用促進につなげる。
五所川原市民と県外流出者で五所川原をPR出来ることを話し合う。
五所川原にしかないイギリストーストや焼きそばバゴーンの試食会を行う。
友人や家族に「今度いつ帰ってくるの？」と連絡する。

---

# 市民討議会 資料編

## 平成30年度 五所川原市民討議会実行委員会会則

### (名称)

第1条 本会は、平成30年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 実行委員会は、平成30年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

### (所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 平成30年度五所川原市民討議会実行委員会会則（以下「会則」という。）の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 市民討議会の実施に関すること。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関すること。

### (組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成31年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

(3) 書記・会計 若干名

(4) 監事 2名

2 役員は委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(経費)

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

(会計年度等)

第11条 実行委員会の会計年度は、この会則の施行日から始まり、平成31年3月31日に終わる。

(解散)

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この会則は、平成30年4月25日から施行する。

## ■参加者案内通知■

平成30年7月吉日

市民の皆様へ

五所川原市長 平山 誠敏

公益社団法人 五所川原青年会議所  
理事長 坂本 興平

### 平成30年度五所川原市民討議会への参加のお願い

拝啓 盛夏の候 ますますご清栄のことと存じます。

この度、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所は、「五所川原市民討議会」を協働で開催することといたしました（広報ごしよがわら7月号及び別紙に内容が掲載されております。）。

市民討議会は本年度の開催で第7回目となり、五所川原市をより良いまちにするため、さまざまな立場や年代の市民の皆様から、幅広い意見を出し合っていただき、市政への市民参加のきっかけづくりと、市民協働のまちづくりを推進していくものです。

この市民討議会への「参加のお願い」は、18歳以上のすべての市民の中から1,500名を無作為抽出し、送付させていただいています。

つきましては、貴方様が無作為抽出により選出されましたので、公私ともご多用の中、誠に恐縮ではありますが、趣旨をご理解の上、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬白

### 記

- |          |  |
|----------|--|
| 1 日 時    | 平成30年8月26日（日）13時30分～17時00分                 |
| 2 場 所    | 五所川原市役所新庁舎 1階 市民の土間<br>（住所：五所川原市字布屋町41番地1） |
| 3 討議会テーマ | 暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原へ                    |
| 4 謝 礼    | 3,000円                                     |
| 5 参加定員   | 30名程度                                      |

- 6 進め方 参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿った意見を出し合っていただき、グループごとにまとめていただきます。
- 7 回答方法 (1) ご参加いただける場合  
お手数ですが、別紙の承諾書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒により、平成30年7月20日(金)までにご返送ください。
- (2) 不参加の場合  
お手数ですが、別紙アンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒により、平成30年7月20日(金)までにご返送ください。
- 8 参加者の決定 参加の申込みが多数となった場合は、大変申し訳ありませんが、抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 9 その他 ●託児サービスなど  
参加を承諾される方で、託児を希望する場合は、事前にご連絡ください(対象：1歳から未就学児まで)。
- そのほか、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。



ひじりん®

【問い合わせ先】

五所川原市民討議会実行委員会事務局

(公益社団法人五所川原青年会議所内)

〒037-0052 五所川原市字東町17-5 商工会館

TEL: 0173-35-4049

(10:00~17:00 土日祝を除く)

FAX: 0173-35-4044

五所川原市財政部企画課

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1

TEL: 0173-35-2111 内線2232~2234

FAX: 0173-35-3617

## ■各種アンケート■

### 参加者アンケート集計結果

回答数 29名

(質問 1) 本日、この市民討議会に参加された動機はなんですか？

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| 1 おもしろそうだったから……………  | 22名 |
| 2 テーマなどにひかれたから…………… | 5名  |
| 3 報酬が魅力的だったから……………  | 1名  |
| 4 その他……………          | 1名  |
- ほかの方々の考え方を知りたかった。
  - 地域へ少しでも貢献したい。

(質問 2) 市民討議会の時間的な長さはいかがでしたか。

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1 長い……………     | 5名  |
| 2 ちょうど良い…………… | 23名 |
| 3 短い……………     | 1名  |

(質問 2-1) 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。  
ちょうど良い時間はどのくらいでしょうか。

( )時間くらい。

- |          |    |
|----------|----|
| 2時間…………… | 1名 |
| 3時間…………… | 3名 |

(質問 3) 市民討議会を開催する曜日と時間帯についてはいかがでしたか。

曜日について ……	1 週末が良い……………	19名
	2 平日が良い……………	1名
	3 どちらでも良い……………	9名
時間帯について ……	1 日中が良い……………	17名
	2 夜が良い……………	1名
	3 どちらでも良い……………	11名

(質問 4) 市民討議会の報酬の額についてはいかがでしたか。

1	ちょうど良い……………	18名
2	ちょうど良い額だと思わない……………	2名
	適切な額は(5,000)円……………	2名
3	報酬は必要ない……………	5名
4	現金以外の報酬にすべきである……………	4名
	具体的に …… 五所川原の産品、石炭クッキーなど。	
	… ちょっとした菓子。	

(質問 5) 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか。

1	適切だった……………	28名
2	適切ではなかった……………	1名

(質問 5-1) 「適切ではなかった」とお答えになった方は理由をお書きください。

理 由… 意見がだしにくかった。

(質問 6) 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか。

- |          |     |
|----------|-----|
| 1 多い     | 0名  |
| 2 ちょうど良い | 28名 |
| 3 少ない    | 1名  |

(質問 7) 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか。

- |              |     |
|--------------|-----|
| 1 言えた        | 17名 |
| 2 まあまあ言えた    | 12名 |
| 3 ほとんど言えなかった | 0名  |

(質問 8) 参加されての充実感をお尋ねいたします。

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 充実していた    | 29名 |
| 2 充実していなかった | 0名  |
| 3 どちらでもない   | 0名  |

(質問 9) 討議していく中で、「まち」についての考えに変化はありましたか。

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| 1 自分の考えが参加前とくらべて大きく変化した | 26名 |
|-------------------------|-----|

理由… いろいろな世代の意見が聞けた。

… 若い人たちのやる気に感心した。

… 五所川原について知らなかったことについても知ることができた。

… 多くの世代の方が五所川原に関心を持っていたから。

… 若者の考え方を知り勉強になりました。

… いろいろな意見が聞けたから。

… これから先に期待している。

… 前向きになった。

… 様々な人の意見を聞くことができ、なるほどなと思ったから。

… 年齢などによって考え方が違い新しい発見があった。

… もともと、五所川原が好きなので、さらに好きになった。

… 様々な年齢の方と触れ合っ自分の見方以外を知れたから。

… 考え方が変わった。

- … 魅力を探したが正直あまり思い付かなかったが今回の討議会でたくさん知り、五所川原を誇れると思った。
- … 自分で知らない五所川原のことが良く分かった。
- … 様々な意見を聞いて視野が広がった。
- … 何も知らないことが多かった。
- … いろんな意見が聞けてとても良かった。
- … 関わる事が大事だと思った。
- … 若い人の意見が聞けた。
- … 自分が参加すること。関わる事の大切さがわかった。
- … 多様な考え方を知ることができた。
- … いろいろ勉強になりました。
- … 知らなかったことを知れた。
- … 自分の住んでいる地域を理解できました。

2 どちらかというとならなかった…………… 3名

理 由… 限界があるかもしれないが継続した努力は必要と考えている。

(質問 10) これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか。

- 1 ある…………… 2名
- 2 ない…………… 27名

(質問 11) 市民討議会にかぎらず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか。

- 1 参加したい…………… 16名
- 2 都合が付けば参加したい…………… 13名
- 3 参加したくない…………… 0名

(質問 12) 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？なんでも結構ですので感想をお書きください。

- いろいろな世代の意見が聞けた。
- 五所川原市民討議会を継続してほしい。
- 普段考えていることについて意見を交換する場があったので良かったと思います。
- 無関心な方が多いんだろうなと思っていたが、そうではなかった。
- 市民として何ができるのか考えました。
- 2度とない経験をありがとうございました。
- 世代の違う方の意見を聞いて参考になった。
- とても充実していた。
- 自分の考えていたことが言えたので良かった。
- 市の魅力について考えられた。
- 市民の意見を聞くいい機会なのでよいと思います。
- 充実していた。
- 様々な人と関われたのでとても楽しかったです。
- 参加出来て、新しい考え方や学びがあり、いい機会になった。
- とても良い体験でした。討議会を準備された方、おつかれさまでした。
- いろいろな人の考え方に触れられて楽しかった。
- 勉強になり楽しかったです。
- 楽しかった。
- 市を知れるいい機会でした。いろいろな年齢の方と交流できて楽しかったです。
- いろいろな意見を聞いて楽しかったです。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- すごく楽しく過ごせて、これから五所川原市民としていろいろ考えていきたいと思っています。

- とても良い刺激になりました。ありがとうございました。
- 個人個人の考え方が参考になりました。
- 知らない人と話し合いができてよかった。
- いろんな人の意見を聞くという事は大変充実してよいと思った。
- 関わる事の大切さを知った。
- 楽しかったです。
- いろんな意見を聞いて楽しかった。
- 初対面の方々と話し合うことによって、その人の住んでいる地域の特徴をより詳しく知ることができ大変有意義でした。

---

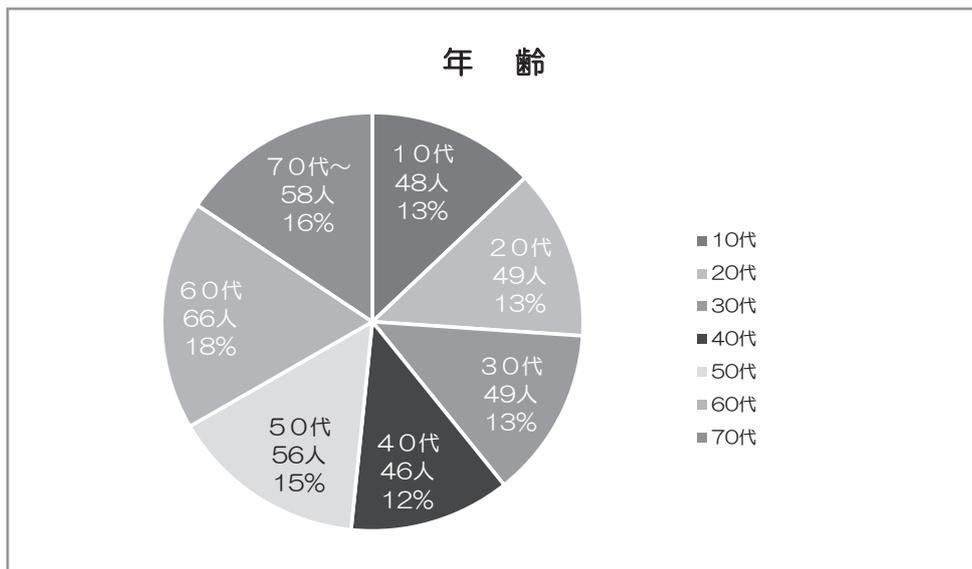
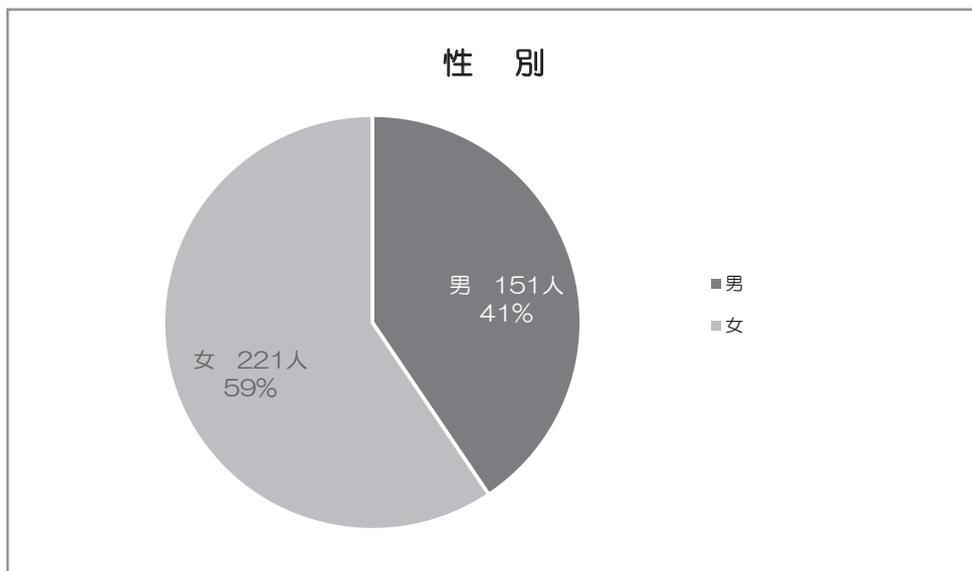
その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

- 今回の討議会が有効なものとなるようにしていただきたいです。
- 市民討議会の意見をぜひ生かしてほしいです。
- 安心して子供を預けれるように保育士の人数を増やしたらいいと思います。

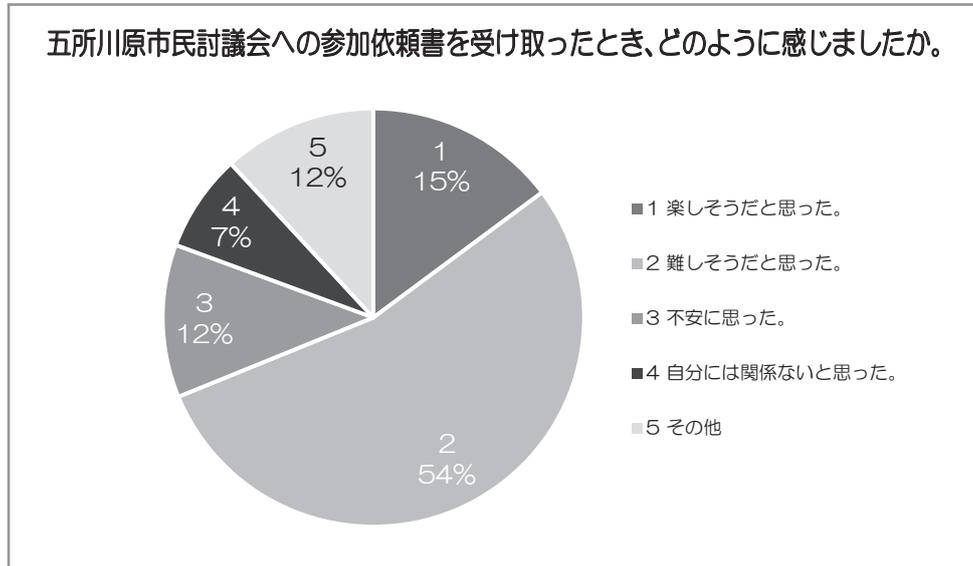
## ご参加いただけない方に対するアンケート結果

372人回答 / 1,500人発送に対して

### 1 あなた自身について



## 2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか。

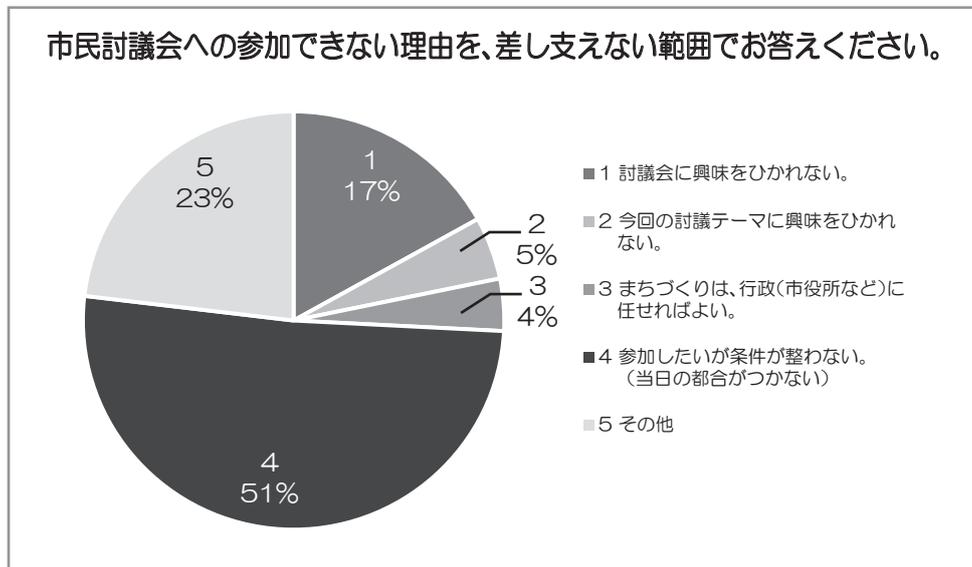


### その他の意見

- 大変そう。
- 通知が来てびっくりした。
- 討議結果が市政に生かされるのか疑問に思った。
- 30名での討議会では、意見に偏りが出そう。
- 市民討議会は必要であり大事だと思った。
- 8/26私用のため出席できず。
- 時の流れを感じました。
- 良いことだと思う。
- 重要なまちづくりの議論が出来る場へ招いていただき、ありがたいと思った。
- どうしてかと思った。
- 当日行事が入っているので残念だと思った。
- 自分の考えが介護に固執してしまう気がしたので。当日の都合もあったが迷いもあった。
- 引越してきたばかりなので、長く居住している人の方が良いと思った。
- 無理と思った。
- このような活動があったのかとびっくりした。
- このような活動が行われているのだと思った。
- 迷惑だと思った。
- 不明な点は多いが興味は起きた。
- 知り合いと討論したくない。
- 仕事が無ければ行きたかった。
- このような機会は良いことだと思った。

### 3 市民討議会への参加できない理由を、差し支えない範囲でお答えください。

(複数回答可)



#### その他の意見

- 若者が住みたいまちづくりには若者の意見が大事だと思う。
- 知的障害のため。
- 介護をする両親がいるため。
- 体力に自信がない。
- 興味はあるが、きちんとした討議ができるか自信がない。
- 法事の予定がある。
- 旅行の予定がある。
- 口下手で自信がない。
- 難聴である。
- うまく話せない。
- 仕事のため。
- 孫の面倒を見ないといけないから。
- ワークショップに苦手意識がある。
- 70代の私よりも若い人が参加したほうが良いと思った。
- 父親の命日のため。
- 病気で足が不自由なため。
- つがる市の馬市に参加のため。
- 高年齢だから。
- 県外在住。

- 暮らしてみたくなる、帰ってきたくなる五所川原へのアイデアが浮かばない。
- 介護のため。
- 兼業農家なので作業の都合上、当日の約束はできない。
- 通院のため。
- 市民の意見を生かしたまちづくりに期待できない。
- 知らない人たちと会ったり話したりすることに極度に緊張するから。
- 仕事のため。
- 働いた方がお金が高いため。
- 市や街の知識がないと参加できなそう。
- 子供の試合が入るかもしれないので。
- 自分には難しいと思った。
- 討議の際に、参加者の年齢差があった場合、自分の意見を言えないと思ったため。
- 体調不良のため。
- 夏休み中の息子家族が来るため。
- 討議会が苦手。
- 大衆の中での会話が苦手のため。
- 病人がいるので出かけられないため。
- 長期入院中のため。
- 県外に居住。
- 年寄りなので。
- 病気を抱えているため外出できない。
- 入院中のため。
- 体調が良くない。
- テーマが大きすぎて4時間でまとまるとは思わなかった。
- 仕事のため。
- 難しそうなので、意見が言えないと思った。
- 興味のあるテーマ+参加費5,000円なら仕事を休んで参加したかも。
- 東京出張が多いため。
- 結果は反映されないと思うから。
- グループワークが苦手で、自分の意見をうまく伝える自信が無いため。
- 日曜だから。
- 前回参加希望したが落選したので、今回も落選すると思うから。
- 県外へ転出するため。
- 学校が遠方のため。
- 県外にいるため。

- 謝礼を受け取るための許可申請が手間になるので。
- 意見を言っても反映されづらいように感じた。
- 仕事のため。
- 病気のため。
- 討議内容が反映されているのかな？と思った。
- 介護のため。
- 子育てのため。
- 話すのが苦手なため。
- 小学生の託児が出来ないから。
- 市民討議会に難しいイメージがある。
- 冠婚葬祭のため。

#### 4 市民討議会へのご意見等がありましたらご記入してください。

##### 討議会について

- どのように行うかイメージが湧かない。
- 無償でいいので時間を短くしてほしい。
- アンケートに五所川原に住んで満足か？という質問を追加するのはどうか。
- 市民討議会をぜひ継続してほしい。
- 医療や社会保障についてのテーマであれば参加したい。
- 除雪や高齢者に優しい町についてテーマに取り上げてほしい。
- より良い五所川原のために市民討議会を継続してほしい。
- 70代でも選出されたことはとても興味深く、意義を感じる。
- テーマをもっと具体的にすべき。
- 形だけの討議会にならない工夫が必要。
- 一般市民からの目線で意見や要望などの討論会はおおいにやるべき。
- いくら話し合っても良くはならないと思う。税金は高いし、給料は変わらない。
- 市のためにこうして会を開くのはとてもいいことだと思います。これからも続けてほしいと思う。
- 若者達が五所川原に住みたいと思うまちづくりを考えてもらいたい。
- 今は分からない。
- 私、保険協力員をおおせつかっていますが、昨年から地域包括支援センター主催で、生き生きセンターで「地域の取り組みを知り、活用し、他地域に広めよう」というテーマで（5～6人で15グループ位あったと思う）話し合い、その結果を発表しまして、大変勉強になりました。※こういう場を設けて、市民全体とはならないですがとてもよいことだと思います。出席できないのは残念ですが、盛会をお祈りしています。市長も変わったことだし、いろいろ頑張ってください。
- 学校に通っている方（18歳以下）に聞いた方が今回のテーマとしては良いと思う。30代以上だと帰ってきたくなくなるとかは関係ないと思う。
- グループ分けをする際は、年齢が近い参加者同士分けた方がいいと思う。
- 自分自身でも暮らしてみたくなくなる気が全然ないので参加しても役に立たないと思いますので不参加にしました。
- 話だけでも聞きたいと思いましたが残念です。
- わが五所川原をよりよくするため、皆さんの意見を参考に実現できるようにしていただいたらいいなと思います。人口減や低賃金、高齢化・・・数えるときりのない程不安材料が山積みですが、少しでも安心して暮らせるようになってほしいですね。私の一番の不安は各種税金が高い！！の一言です。
- 若い人達の意見も取り入れつつ、これからは市のためにお互いに協力してにぎやかな住みよい町にしていけたらいいと思います。
- 市民で話し合い結果を出すのは、大変良いことだと思います。五所川原のまちを良くしていこうと言う行動が感じられます。

- 20,30代のいわゆる子育て世代を中心に考え、子供たちの声が響きわたる活気のある街になるといいと思います。
- どのような討議があって、どのように何が実現されたのかを広報に載せてほしい。「立佞武多」などの短期の祭りではなく、市民のためになる住みよいまちとなるような行政を進めてほしい。
- 非常に良い企画だと思います。頑張ってください。
- 暮らしてみたいくなるというテーマは各年代について条件や課題が違います。無作為に抽出した人達で4時間程でまとまるような内容とは考えられません。街単位で市政を担っている人達が足を運んで、どのような問題があるのか聞いていったほうがピンポイントで分かってくると思います。また、帰ってきたくなる五所川原はイコール仕事があれば誰でもいるわけだし、難しくはないはずと思いますが。
- 五所川原は食物も豊富で環境も良く住みやすい土地だと思いますが、生活していくのにまだまだ大変なところもあると思います。でも若い人達の意見をどしどし前に出して青年に引っ張って行ってもらいたいと思います。
- 必要なことだと思うので続けて欲しい。
- 新市長が誕生し、これからの市政が変わることに期待します。公約どおりいくものかどうかこれらを踏まえ、市民討議会で意見を出し合い、市民協働のまちづくりに期待しております。
- あらかじめテーマを示した方が関心、意欲がわくのではないのでしょうか。考えをまとめておくことも出来るし、これなら私も立案できるなど。参加するかどうかの決め手になるのではないかと。
- 障害者の生きやすい街にする討議を加えて欲しい。
- 色々な意見を聞く試みは良いと思います。
- 広報等で討議結果から市側の対応を周知し市民にアピールしてもらいたい。
- 色々な職種、年齢等での話し合いの場はとても良いことだと思います。
- 市民への配布枚数を少なくし、謝礼を増やした方が、参加者が増えるのでは？
- 過去の討議会での意見等が現在の市政に反映されたことがあるのかわからない。
- 若者が働きたい五所川原市について。
- とても良い経験ができると思ったのですが学校があり参加できませんでした。
- 活発に発言できない人の意見のほうが重要だと思います。
- 旧市町村単位での討議を望みます。
- 不参加の人については名前の記載がないのか？
- 税金の無駄に感じるので選定方法に一考の余地があると思う。

## 市政について

- 住んでみたいまちには安定した雇用が重要ではないか。
- 立佞武多はパリに行く必要性はあるのですか？
- 市民プールの必要性を感じる。
- 近くの公園に子供が遊べる遊具がない。
- 立佞武多に旅行客の宿泊施設が不足している。
- 製造業の雇用を高めるべき。
- 市民税を支払っている人にコメや野菜などの引き換え券を配布するのはどうか。
- 五所川原市職員こそ五所川原市に住むべきでは。
- 駅前にもっと活力を感じられるようになったらどうか。
- ごみの缶と瓶を捨てる日が増えてほしい。
- ひとり親の医療費を始めてほしい。
- ごみの分別が細かい。
- 共同墓地について五所川原で取り組んでほしい。
- ゴミ出しの簡素化をお願いします。
- 除雪で重い雪を家の前に置いていかれる。
- 仕事の賃金を向上してほしい。
- 空き家の問題を解決してほしい。
- 本町も立佞武多が通ってほしい。
- 子供の医療費の無料化をしてほしい。
- 子育て支援をもっと手厚くするべき。
- 金木町の活性化にも取り組んでほしい。
- 市営住宅の入居条件が厳しい。母一人、子一人では入居できないのか。
- 特に若い方々が五所川原に定着するために、魅力ある街づくりがなされることを願っています。
- 市政で具体的にどんなことをしているのかよく分からないので、もう少し市政が身近に感じられたらと思いました。
- 市長の公約について。
- 市外の人達が集まる市になりつつありますが、迎え入れる人の意識が追い付いていない気がします。もう少し相手の受け止め方を意識した感覚を身に着ける必要があると思います。
- 市民全員が使用できるスポーツジムのな施設が欲しいです。
- なるべく生活保護費削減。
- 医療費削減。
- 佐々木新市長にはがんばってください。
- 行政が作った借金を市民の負担にするな。

- 中泊町や西目屋村等を参考にしたまちづくりを目指して欲しい。
- 子供の保険料を中学生まで無料にすることの早期実現化を。
- 金木町に施設が欲しい。
- 芦野公園の噴水周辺の整備
- 金木町にも道の駅が欲しい。
- 市外から来るような魅力的なイベント。
- 駅近くに若者が集まるような店を誘致するなどして駅を発展させるべきだと思う。
- 人とのつながりができる居場所が欲しい。
- 交通網が少なく不便。
- サービス業以外の雇用が少ない。
- 道路の状態が悪い。
- 除雪が雑で車や歩行者のすれ違いが困難。
- 交通の不便さについて。
- 土手の整備をして欲しい。
- 五所川原の街は死んでいる。
- 仕事のできない市役所職員はやめさせて欲しい。

## 平成30年度 市民討議会を開催します

市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催で、五所川原市民討議会を開催します。

市民討議会とは、地域住民がテーマに沿った意見を出し合い、結果を取りまとめて行政に報告書を提出する「新しいかたちの住民参加」として平成24年度から開催しています。

無作為で選出された住民が参加するため、より多様な意見が聴けること、参加する住民によっては関心の薄いテーマもあることから、普段あまり関心のなかった行政課題などを考える機会となり、住民の行政への参画意識の向上に効果的であることが特長とされています。

これまで参加した方々の意見は、五所川原市総合計画へ反映し、また市民有志によって事業化されるなど、五所川原市をより良くするための取り組みに活用されています。

市民討議会は公開で開催します。申し込みなしで自由に観覧できますので、お気軽にお立ち寄りください。

### 参加者決定方法

住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1,500人に参加案内書を送付し、参加希望者の中から抽選で参加者30名を決定します。

市民討議会参加案内書が送付された皆さんは、参加についてご協力をお願いします。

\*参加資格を有する方は、参加案内書が送付された方となります。

### 市民討議会

日時・場所…平成30年8月26日(日) 13:30～  
市役所1階 市民の土間・土間ホール

#### 討議テーマ

「暮らしてみたいくなる・帰ってきたいくなる五所川原へ」



H29年度の市民討議会の様子

#### 問い合わせ先

- ・五所川原市民討議会実行委員会  
(五所川原青年会議所内) ☎35-4049
- ・企画課 内線2234

### 市民討議会の流れ

**6月中旬**

住民基本台帳から18歳以上の市民1,500人を無作為に抽出します。



**7月上旬**

抽出された市民に市民討議会の案内書を送付します。



**7月下旬**

参加希望の回答者から抽選で30名を選出し参加決定通知を送付します。



**8月26日**

五所川原市民討議会の開催。



報告書を作成し、市に提出します。

### 忠孝太鼓曳き手募集のご案内

夏祭り「五所川原立佞武多」の先陣を飾る「忠孝太鼓」の曳き手をしてみませんか。

日時…8月4日(土)～8月8日(水)

16:00～21:00(予定)

対象…高校生以上の方(高校生は保護者の同意が必要)

募集人数…各日30人程度

参加料…無料

申込締切…7月20日(金)まで

申込方法…住所・氏名・生年月日・電話番号・参加希望日をFAX(39-1093)またはEメール(goshokan@city.goshogawara.lg.jp)でお知らせください。

\*申込多数の場合は抽選し、参加決定者については、後日申込者へ連絡します/傷害保険は市で加入します/半纏、帯および短パン等の衣装は市で準備します/軽食を準備します。

申込先…観光物産課 内線2573

## 講師(コーディネーター)プロフィール

氏名 (フリガナ)	平井 太郎 ヒライタロウ	
生年月日(年齢)	昭和 51年 5月14日 (42歳)	
勤務先	弘前大学大学院地域社会研究科	
家族	妻	
専門など	社会学	
経歴・職歴	西暦	
	2000年	東京大学教養学部教養学科卒業
	2003年	特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 副理事長(現職)
	2008年	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)取得 日本女子大学人間社会学部学術研究員
	2010年	小田原市・国見町 歴史まちづくり協議会 委員(現職)
	2012年	弘前大学大学院地域社会研究科 准教授(現職)
	2012年	総務省地域力創造アドバイザー(現職)
	2012年	国土交通省集落地域における小さな拠点形成推進に関する検討会委員(現職)
	2012年	青森県つがる西北五活性化協議会委員(現職)

平成30年度五所川原市民討議会 報告書

編集 平成30年度五所川原市民討議会実行委員会